

楽しい読書出前授業



<本の紹介>

<読みたい本を選んでいるこどもたち>

今年も教育センター事業として「楽しい読書出前授業」を始めました。5月9日（火）に、川治小学校の5年生で本年度最初の授業を行いました。昨年度も授業をしている学年ですので、去年紹介した本ではない本を選んで持っていきました。

最初に **Q 読書生活は充実していますか？**と聞きました。「充実している」と答えた子の方が多かったです。理由は、「前より厚い本を読んでいる。」「小説を読むようになった。」「いっぱい読むようになった。」「字の多い本を読むようになった。」「長い時間読むようになった。」…と、読書生活の充実振りが伺えました。川治小学校では、全校で読書に力を入れ、「朝読書」も実践していると聞いています。一方「充実していない」という理由は、「面白い本がない。」「読むのがめんどくさい」「本がすきじゃない。」というものでした。私は、「面白い本はたくさんあるから、ぜひ面白い本に出合って読書生活を充実させてください。」と伝えました。また、「面白い本を知っている友達から紹介してもらおうのもいい。」というアドバイスもしました。

その後、持っていった本を紹介しました。物語だけでなく、写真絵本や料理の本、気球環境クイズの本、漫画も…と、できるだけジャンルの異なる本を用意しました。子どもたちは、一人一人興味関心が違います。読解力の差もあります。その子に合った本を「手渡す」ことができれば、必ずどの子も本が好きになってくれるのではないのでしょうか。

6月、7月の出前授業の申込みが少しずつ届いています。まだの学校のみなさん、お待ちしております。

子ども読書活動推進フォーラムに参加して

4月23日（日）の「子ども読書の日」に、国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた「子ども読書活動推進フォーラム」に参加しました。その際、全国表彰を受けた学校や図書館の事例発表を聞いたり、女優の紺野美沙子さんの「心を育てる読書」と言う演題の講演を聞きました。

事例発表の中では、「図書室は、立派な部屋でなくていい。機能しているかが大事」と言う言葉が印象に残りました。「機能する図書室」のために、情報館でできることがあれば声を掛けてください。

